

Si-R G121 V20.53 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	内容
1	内蔵通信モジュールのソフトウェア更新機能	内蔵通信モジュールのソフトウェア更新機能をサポートする。
2	内蔵通信モジュールの異常発生時の復旧機能	内蔵通信モジュールの異常発生時の復旧機能をサポートする。
3	電波強度判定の閾値と判定信号を変更	電波強度判定の閾値と判定信号を変更する。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.06～V20.52 電波状態表示ランプ利用時	ランプを電波状態表示モードにして、接続した通信モードがLTEの場合、内蔵通信モジュールの電波状態が誤って判定され電波状態表示のランプが誤って表示される場合がある。
2	V20.51～V20.52 IPsec(IPv6接続)機能利用時	IPsec(IPv6接続)の設定時にtunnel local/tunnel remoteにFQDNアドレスを指定するとIPsec接続不可となってしまう。
3	V20.06～V20.52 内蔵通信モジュールで接続エラーが発生して切断された直後、または、usbctl restart wwanコマンド実行直後の右記コマンド実行時	内蔵通信モジュールで接続エラーが発生して切断された直後、または、usbctl restart wwanコマンド実行直後に下記コマンドを実行するとコマンド応答がない場合がある。 show pseudo-ether statistics offline pseudo-ether online pseudo-ether offline wwan signal online wwan signal show wwan faultstat
4	V20.06～V20.52 内蔵通信モジュール利用時	内蔵通信モジュールを使用する設定を行い、かつ、SIMカードを実装した状態で、稀に[d400000001]のエラーログを出力し再起動する場合がある。(なお、装置再起動を行う場合に、発生した事例あり)
5	V20.06～V20.52 WEB画面利用時	Web管理インタフェースにおける脆弱性対応
6	V20.06～V20.52 resetコマンド実行時	定期ログ機能を有効(defaultは有効)に設定、または、snmp機能を有効(defaultは無効)に設定して、装置起動直後、または、定期ログ採取周期(default 3h)と同じタイミングでresetコマンドを実行すると、極稀に装置がハングアップ状態になり、約15分後に、エラーコード[d4000063]が記録されて再起動する場合がある。
7	V20.06～V20.52 ・show wwan status csvコマンド実行時 ・show trace signalコマンド実行時 ・電波状態表示ランプ利用時	show wwan status csvコマンド、または、show trace signalコマンド実行時に、内蔵通信モジュールが3G接続時に表示されるRSCP値、EC/IO値が実際の値と異なって表示される。また、ランプを電波状態表示モードにした場合、電波状態表示のランプが誤って表示される。